

令和7年度入学者選抜試験問題

(国際資源学部 資源地球科学コース・資源開発環境コース)

小論文

総合型選抜Ⅰ

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子の中で、問題は4ページです。解答用紙は2枚あります。
- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合には、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 5 解答は、解答用紙の該当欄に横書きで記入しなさい。
- 6 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 7 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

以下は、チャールズ・ダーウィンがガラパゴス諸島について述べた文章である。
次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

本文省略

本文省略

本文省略

〈出典：チャールズ・R.ダーウィン（著）荒俣宏（訳）（2013）『新訳 ビーグル号航海記 下』平凡社より一部改変〉

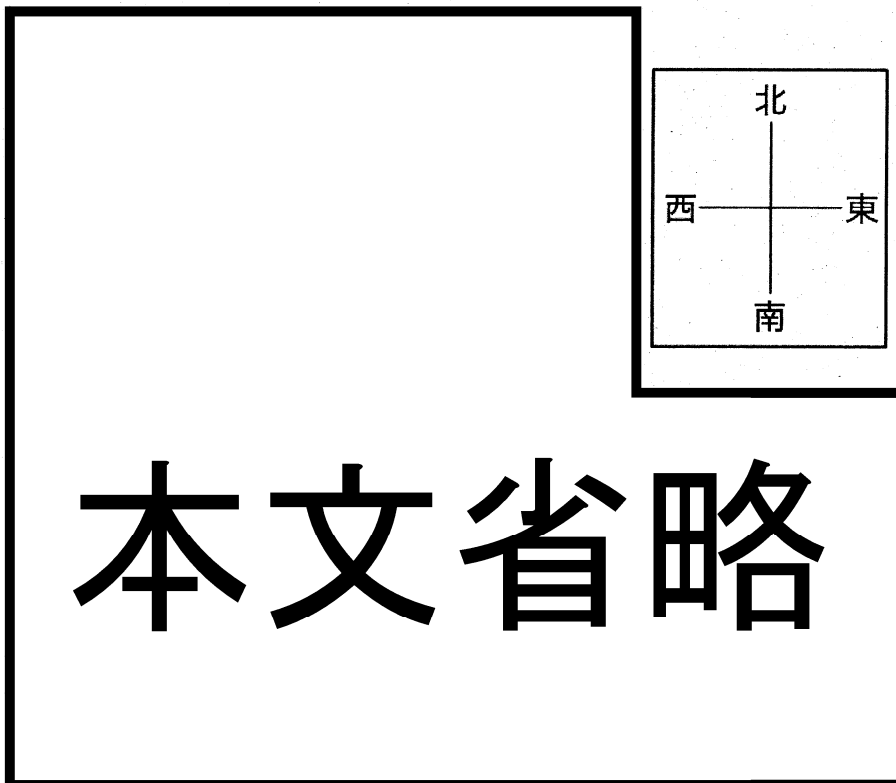
（注1） 南極の大潮流 ペルー海流のことで、発見者であるドイツの探検家にちなんでフンボルト海流とも呼ばれる。南アメリカ大陸の西を北上する太平洋の寒流。

（注2） フィート 長さを表す単位であり、1フィート＝約0.3 m。

（注3） マイル 長さを表す単位であり、1マイル＝約1.6 km。

問 1 下線部①について、ジェームズ島とアルベマール島に関する本文の記述と同様に、チャタム島とチャールズ島の植物の種類について、120 字程度で説明しなさい。ただし、表の数値を必ず用いること。

問 2 下線部②と③について、本文の内容から読み取ることができるガラパゴス諸島の海流を、以下の図のア～エから 2 つ選びなさい。



問 3 チャールズ・ダーウィンは、ガラパゴス諸島の 4 島（ジェームズ島、アルベマール島、チャタム島、チャールズ島）の植物を調査している。もしあなたが、その 4 島以外に、もう一島ガラパゴス諸島の植物を調査するならば、どの一島を調査したいか。本文や図表の内容にもとづき、一島の名前を述べ、その島を選んだ理由や、調査して新たに分かりそうなことを 300 字程度で説明しなさい。